

たんぽぽ組保護者 様

マイत्री学園大間々南幼稚園

第12号

園長 新井 博介

担任 渡邊 綾音

副担任 山下 梓



# たんぽぽだより

寒い日が続きますが、子どもたちは園庭で好きな遊びを楽しんだり、サーキットに参加し思い切り体を動かしたりし、寒さに負けず元気に遊び、学んでいます。また自己主張もはっきりとしてきて、友だちとのかかわりの中で様々な経験をしています。3学期も残り2ヶ月、進級への準備をしながら、友だちとのかかわりが深められるよう活動を工夫していきたいと思ひます。

## 《2月のねらい》

- \*冬の自然に関心を持ち、寒さに負けず元気に遊ぶ。
- \*身の回りの事が自分で出来る喜びを感じる。

## 《2月の活動》

♪たんぽぽ組の歌「北風小僧の寒太郎」  
手遊び「おにのパンツ」

月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
朝礼(新入所児紹介) 節分集会 身体測定	鬼の絵を描く 	避難訓練13:00	紐通し・洗濯ばさみ遊び	なわとび大会(全学年) ★手作り弁当
・節分に関する活動				
10	11	12	13	14
年長・たんぽぽ リトミック教室 12:50~	建国記念の日	遊戯室飾り作り	月刊誌 	階段飾り作り
・お別れ会に関する活動 ・リズム遊び(リトミック・楽器遊びなど)				
17	18	19	20	21
英語教室 10:20~10:35 10:35~10:50 (年長卒園記念撮影) 13:00	年長児への プレゼントづくり 	運動教室 ※動きやすい服装 か運動着登園  10:40~11:00 ※満3歳児のみ参加	お別れ会リハーサル (在園児のみ)	縦割保育活動⑬ 社会科見学・ 遠足事前指導・ (赤城駅・大間々駅) ★手作り弁当 ※裏面参照
・お別れ会に関する活動 ・リズム遊び(リトミック・楽器遊びなど)				
24	25	26	27	28
振替休日	たんぽぽ組保育参観 満3歳児 ※たんぽぽ組 10:00~11:00 保護者懇談会 11:05~11:50	たんぽぽ組保育参観 満2歳児 ※たんぽぽ組 10:00~11:00	第4回誕生会 10:30~ (12・1・2・3月) 	お別れ会・ お別れ会食 (在園児のみ)
・お別れ会に関する活動				

## 縦割り保育⑬

### 遠足事前指導・縦割会食

※満3歳児のみ参加 ※雨天中止

日時:2月21日(金) AM10:30出発

場所:赤城駅方面 (イエロー・グリーン)

大間々駅方面 (レッド・ブルー)

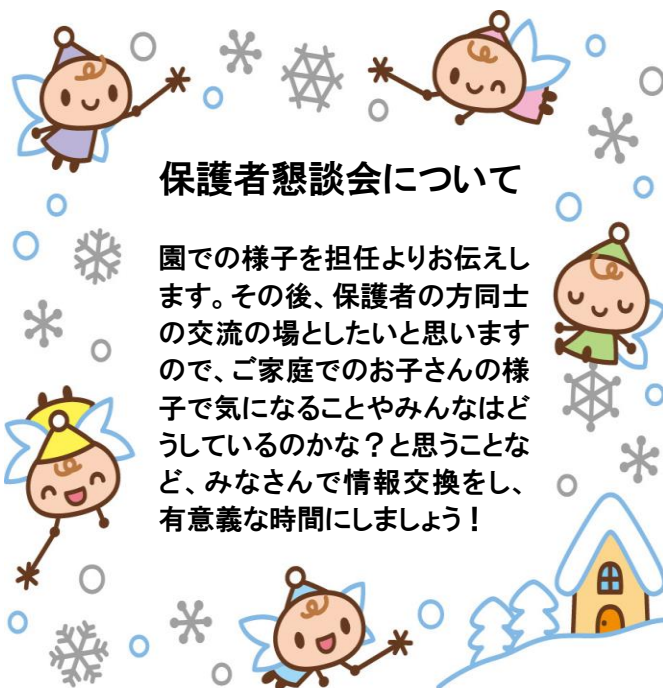
服装:動きやすい服装か運動着

※終了後、縦割り会食

持ち物:水筒(水かお茶※紐付き)・シート

※満2歳児は園での遊びになりますが、

持ち物は満2歳児も同様です。



## 保護者懇談会について

園での様子を担任よりお伝えします。その後、保護者の方同士の交流の場としたいと思いますので、ご家庭でのお子さんの様子で気になることやみんなはどうしているのかな?と思うことなど、みなさんで情報交換をし、有意義な時間にしましょう!

## 《給食について》

満3歳児:3学期より箸箱をナプキンで包んでしぼる練習を始めました。最近は「できた!」という子が増え、意欲的に取り組む姿が見られます。また、箸も使いながら進級に向けて給食の準備を進めていきたいと思えます。箸はご家庭でも取り組んでいただくと成長に繋がりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

満2歳児:ナプキンを自分でたたんでしまったり、食べ物をスプーンやフォークを使って食べたり、引き続き指導していきたいと思えます。

## 《トイレトレーニングについて》

満3歳児:一日パンツで過ごせる子がほとんどです。決まった時間にトイレに行けるようになっています。着替え袋にパンツが入っていない子は持たせてください。着替えをすることが増えるかと思えますが、お洗濯のご協力をよろしくお願いいたします。

満2歳児:自分でパンツやオムツ、ズボンをはけるようになってきました。トイレに行ける子も増えてきました。引き続き、できることを増やし、自信に繋げていきたいと思えます。



## 《お知らせとお願い》



- 19日(水)は運動教室です(満3歳児のみ)。動きやすい服装か運動着で登園をしてください。
- 雪が積もった日は、長靴を履いて登園させてください。雪遊びをしますので、手袋等雪遊びができる支度をお願いします。
- 現在使用しているクレパス・自由画帳・ねんど・ねんどケース・ゴム印は、来年度引き続き使用します。通園ワッペンが通園方法に変更がない場合は購入不要です。作品帳の購入は自由です。購入しない場合は、今年度のものを使用してください。また、満2歳児は、カラー帽子・連絡帳の購入も不要です。
- 衣服の着脱ができるようになってきました。できないときは保育者や友だちに助けを求めることもできます。自分の身の回りのことを自分の力で頑張れるよう励まし、更なる意欲に繋げていきたいと思えます。ご家庭でも、応援をよろしくお願いいたします。